

共同声明（仮訳）
第8回ASEAN+3（中、日、韓）エネルギー大臣会合
2011年9月、ブルネイ・ジェルドン

1. 第8回ASEAN+3（中、日、韓）エネルギー大臣会合（AMEM+3）が2011年9月20日にブルネイで開催された。会合では、ブルネイのヤスミン大臣が議長を務め、中国の呉・国家能源局総工師国際協力司長、日本の北神・経済産業大臣政務官、および韓国の文・知識経済部産業資源協力室長が共同議長を務めた。また、会合には、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイおよびベトナムのエネルギー大臣が参加した。
2. 大臣は、エネルギーセキュリティに関わる、中東の不安定な地政学的状況や、日本の原発事故の影響のような世界の進展の中、現在のエネルギー状況が極めて不確実になっていることを認識した。そのような中、エネルギー需要は増加し続け、エネルギー安全保障と経済的競争力・環境の持続性のバランスの必要性は高まっている。これに関して、大臣は、地域のために持続性のあるエネルギーの将来を確保するためにASEAN+3エネルギー協力への方針を強化した。
3. 大臣は、エネルギー協力の連携改善の必要性を認識し、ASEAN域内のコネクティビティを強化することが十分なエネルギー安全保障を達成するという目標に地域を近づけるであろうということに合意した。大臣は、エネルギー源の多様化、能力開発、情報共有と交換、および、持続可能な発展と低炭素成長経済の促進への鍵となる、SOME+3エネルギー協力の進捗に謝意を表明した。

エネルギーセキュリティ

4. 大臣は、エネルギーセキュリティにおいて、特に、民生用原子力エネルギー、石油備蓄、石炭とクリーンコール技術を含む、地域のエネルギー選択の可能性を研究するため、協力の取り組みをステップアップさせることが重要であると認識した。これに関して、大臣は、ASEAN+3エネルギー協力の一つであるエネルギーセキュリティフォーラムをリードする日本に謝意を表明した。また、大臣は、韓国による民生用原子力エネルギーの人材育成への継続的な貢献と、日本による核不拡散・核セキュリティ総合支援センターの設立を歓迎した。
5. 大臣は、石油備蓄において、以下の活動を追求することを会合に促した。(i) 4つの原則と方法論に従った備蓄ロードマップの継続的な研究開発、(ii) 各国の石油備蓄活動の進捗状況に関する年次情報の収集、および、(iii) +3国の支援と協力を得たASEAN各国の備蓄ロードマップの実行を促進するワークショップの開催。大臣は、ワークショップの開催についてアセアン・エネルギー・センター（ACE）と日本の石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）に、そして、地域のエネルギー安全保障と備えを強化するために石油備蓄の知識を共有することについて+3国、特に日本とJOGMECに謝意を表明した。

6. 大臣は、その環境上の問題に留意する一方で、石炭は主要な燃料源であることを認識し、低品位炭の高品位化技術や炭素回収貯留(CCS)を含むクリーンコール技術の協カプログラムを開発するさらなる取り組みを歓迎した。大臣は、緊密な協力を促進し、クリーンコールの利用への積極的協力を促進するために、ASEAN 石炭フォーラム(AFOC)の今後の会議で3国が参画するというイニシアティブを支持した。
7. 大臣は、+3国との情報共有を強化するために、政策研究、分析をサポートする人材育成プログラムや地域のエネルギーアウトLOOKの開発を実施する上で、日本エネルギー経済研究所(IEEJ)との継続的な協力を歓迎した。

石油市場・天然ガス

8. 大臣は、不安定な石油価格が地域に影響を与え続けるであろうことに留意し、世界市場における不安定な石油価格への対応策に関する更なる情報共有と交換を行うことをASEAN+3諸国に奨励した。大臣はまた、判明した地政学上のリスクなどに起因する石油供給価格の不安定性と不確実性に対処するために、創造的な解決策を求める上で学んだ経験や教訓を共有することを各国に奨励した。
9. 大臣は、天然ガスは世界的、地域的燃料配合においてますます重要な役割を果たすという見解を共有した。これに関して、大臣は、LNGと非在来型ガスの重要性の高まりを注視することを含み、天然ガスに関する協力を強化することに合意した。大臣はまた、石油市場と天然ガスフォーラムをリードする中国に謝意を表明した。

再生可能エネルギー、省エネルギー

10. 大臣は、2015年までに、地域のエネルギー原単位を8%削減し、地域の再生可能エネルギーを総設備容量の15%とするASEANの期待目標が、順調に進捗していることに留意した。大臣は、CDMプログラムの成果を賞賛し、ASEAN+3 CDMプログラムの継続と、新再生可能エネルギー・省エネルギーフォーラムをリードしたことについて韓国に感謝の意を表明した。
11. 大臣は、民間企業や関連組織の多くの参画を含む、再生可能エネルギーや省エネルギーを促進するイニシアティブのさらなる開発に合意した。
12. 大臣は、新たな、革新的なソリューションが、将来のエネルギー需要を満たす方程式の一部であることを認識し、スマートグリッド技術、大量輸送、そして、輸送分野のエネルギー原単位削減に向けた、他の供給サイドのエネルギー管理に関するイニシアティブを注視するよい機会であると強調した。

次期会合

13. 大臣は、第 9 回 ASEAN+3 エネルギー大臣会合のため、2012 年カンボジアで再会することに合意した。
14. 大臣は、ブルネイ政府と国民による第 8 回 ASEAN+3 エネルギー大臣会合のための温かい歓迎と素晴らしいアレンジに謝意を表した。